



デメテル Demeter

群馬県立自然史博物館だより No.32

Newsletter of Gunma Museum of Natural History 2005.冬・春

デメテルはギリシャ神話に登場する大地の女神で、群馬県立自然史博物館のシンボルマークになっています。

特別展 「アフリカの風」 小倉寛太郎サファリ3000日

開催期間 2005年 3月19日(土)～5月8日(日)



上：夕日に浮かぶトビ 左下：アフリカスイギュウ 右下：ヒョウ 撮影 小倉寛太郎

当館では、小倉寛太郎氏からアフリカに生息するホ乳類・鳥類の標本を数多く寄贈していただきました。いずれも小倉氏自身が現地でハンティングしたのち、剥製に製作されたものです。その一部は平成14年の夏に県庁昭和庁舎特別展示室で開催した「ア

フリカの動物」展で紹介いたしました。今回の特別展では、その後ご遺族から寄贈された資料とアフリカに関する当館収蔵品を合わせて一堂に紹介いたします。動物写真家としても知られる小倉氏の作品も多数展示します。

(学芸グループ 高橋克之)



Aコーナーのパレオパラドキシア

ゾウやジュゴンに近い

第三紀中新世の中頃、およそ1500万年前の日本列島海域には、大型海生哺乳類パレオパラドキシアが棲息していました。パレオパラドキシアは、デスモチルスとともに絶滅した東柱類というグループに含まれています。その分布はサハリンから日本までとアメリカのオレゴン州から南カリフォルニアまでに限られています。東柱類の名は、1本の臼歯がのり巻きを束ねたような形をしていることに由来します。またパレオパラドキシアの名は、臼歯がジュゴン（海牛類）に似ていること、一方頭骨がゾウの祖先（長鼻類）に似ていることから、パレオ（昔の）パラドキシア（パラドックス＝矛盾）と名付けられました。現在、長鼻類や海牛類とともにテチテリア類にまとめられていますが、三者の親疎関係についてはまだ明らかになっていません。



デスモチルスの臼歯

世界最大の大きさ

パレオパラドキシアが生きていた当時は、浜辺にマングローブの森が繁るほどの亜熱帯気候でした。パレオパラドキシアは暖かい日差しの中、浅い水底を歩きまわり、シャベルのような下顎を上手に使って砂や泥を掘りゴカイや貝などを食べたり、海藻などを餌にしていたと考えられています。群馬県の富岡層群では小型のパレオパラドキシアと、より低温の環境に棲息していたと考えられているデスモチルスと一緒に見つかっていました。ところが1987年同じ地層から巨大なパレオパラドキシアの骨格が発見されました。それまでは、カリフォルニアや岩手県のパレオパラドキシアが小型のものより二まわり程大きく最大級でしたが、新たに発見されたものはさらにそれらをしのぐ大きさでした。全身骨格の前に、ガラスケースを設けてその化石を展示してありますので、ご覧下さい。



パレオパラドキシアのジオラマ

夏の企画展で展示

パレオパラドキシアが棲息していた頃の関東地方は大きな海原が広がっていました。約1700万年前から約1000万年前までに堆積した富岡層群は、当時が豊かな海であったことを教えてくれます。浜辺にはゴカイや貝を食べているパレオパラドキシア、飛ばなくなったアンナカコバネハクチョウ、沖にはジュゴンの仲間やウミガメ、クジラが遊泳し、巨大なサメがそれを狙っていました。この当時の様子は、7月16日から始まる第24回企画展「パレオが見ていた大海原」で詳しく紹介します。

（学芸グループ 三田照芳）

毎週土曜日はサイエンス・サタデーへ！

当館では、学校週5日制の対応事業として、毎週土曜日の午後にサイエンス・サタデーを開催しています。これは、実験室や館周辺を活用して、生物や地学に関連する簡単な実験・観察・ものづくりを行う教室です。

月ごとに内容を変えていますので、1年間に12種類の教室を楽しむことができます。館職員とともに博物館ボランティアの人達がわかりやすく説明してくれますので、ぜひご参加ください。

- 日 時：毎週土曜日（博物館開館日）
（3月まで）午後1時～2時
（4月から）午後2時～3時
- 場 所：当館実験室あるいは館周辺
- 対 象：小学生以上
ただし、小学3年生以下は保護者と同伴
- 定 員：30名（先着順）
- 参加費：無料
- 申込方法：当日12時より、館エントランスにおいて受付を始めますので直接申し込んで下さい。
（4月からは13時30分より受付開始）

【今後の予定】

★2月：『3Dミュージアム』

インスタントカメラを使って展示室で立体写真を撮ります。そして、立体視の見方について学びます。

★3月：『動物の足跡スタンプをつくろう』

ライオンやキリンなど、アフリカに住むほ乳類の足跡スタンプをつくります。そして、それぞれの動物の足跡の特徴について学びます。

（総務普及グループ 上原久志）



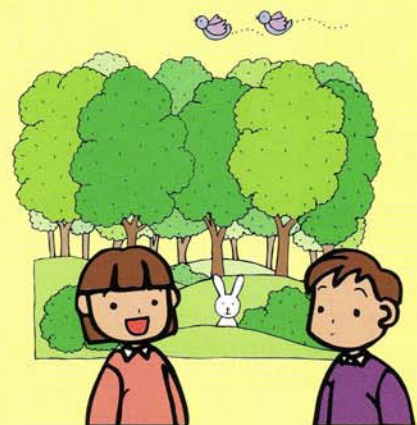
平成17年度子どもミュージアムスクール生募集

子どもミュージアムスクールに入って、自然のしくみや群馬の自然を学習してみませんか！

- 対 象：小学5年生～中学2年生
定 員：18人（応募者多数の場合は抽選）
参加費：1,500円（保険料、教材費の一部負担）
応募方法：

- ① 申込用紙請求期間／3月1日(火)～3月28日(月) 必着
* 80円切手と返信用封筒を同封して申し込み下さい。
* 4月15日(金) に館より申込用紙を送付します。
- ② 申 込 締 切／5月 6日(金) 必着
- ③ 参加者決定／5月17日(火)

活動期間：2005年6月～2006年3月（8～10日間）



（総務普及グループ 野口喜充）

オキナエビスガイの仲間は、古生代のカンブリア紀に出現し、古生代と中生代に栄え、その後は地球上から姿を消したと考えられていました。1876年東京医学校の講師ヒルゲンドルフ氏が、江の島の土産物屋でオキナエビスガイを発見し、新種として発表したことから、この貝は「生きた化石」として一躍有名になりました。これを知った大英博物館は、オキナエビスガイの採集を東京大学に依頼し、その命を受けた青木熊吉さんが採集に成功し、当時40円という破格の謝礼をいただいたそうです。感激した熊吉さんが、「長者になったようだ」と喜んだことから「長者貝」と呼ばれるようになりました。

美しく螺旋状に巻かれた殻の口縁には、この仲間



に特有な「スリット」と呼ばれる深い切れ込みがあります。
(学芸グループ 松本 功)

インフォメーション (3月～6月の予定)

特別展「アフリカの風」 2005年3月19日(土)～5月8日(日)

3月 3日(木)～4日(金) 臨時休館日
 4日(金)～6日(日) 移動博物館 (会場：新田町生品公民館)
 12日(土) 子どもミュージアムスクール閉校式
 19日(土)～2005年5月8日(日) 特別展「アフリカの風」
 27日(日) 自然史講座「群馬の化石」
 毎週土曜日 サイエンス・サタデー「動物の足跡スタンプを作ろう」

4月 24日(日) 自然史講座「群馬のレッドデータブック植物最前線」
 毎週土曜日 サイエンス・サタデー「ライオンの歯のレプリカをつくって動物の歯を調べよう」

5月 15日(日) ファミリー自然観察会「春から夏にかけて見られる野鳥の観察」
 毎週土曜日 サイエンス・サタデー「紙づくりにちょうせん」

6月 4日(土) 子どもミュージアムスクール開校式
 7日(火)～9日(木) 移動博物館 (会場：群馬県立榛名養護学校)
 26日(日) ファミリー自然観察会「火山噴出物とその上に生える植物の観察」
 28日(火)～7月5日(火) 燻蒸休館日
 毎週土曜日 サイエンス・サタデー「れきの丸くなる様子を実験してみよう」

利用案内

■開館時間 午前9:30～午後5:00(入館は午後4:30まで)
 ■休館日 毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は火曜日、ただし5月2日は開館)
 ■観覧料 一般500円(400円)、高校・大学生300円(240円)
 ※中学生以下・障害者手帳等をお持ちの方及びその介護者1名は無料、()内は20名以上の団体料金

凡例

- 実験室行事
- 天体観望会
- ファミリー自然観察会
- 自然史講座などの学習室行事
- 電話で申し込み
- 往復ハガキで申し込み

休館日

○印の日は休館いたします。

3月	4月	5月	6月
日 月 火 水 木 金 土 . . 1 2 ③ ④ 5 6 ⑦ 8 9 10 11 12 13 ⑭ 15 16 17 18 19 20 21 ⑳ 23 24 25 26 27 ㉘ 29 30 31 . .	日 月 火 水 木 金 土 1 2 3 ④ 5 6 7 8 9 10 ⑪ 12 13 14 15 16 17 ⑱ 19 20 21 22 23 24 ㉕ 26 27 28 29 30	日 月 火 水 木 金 土 1 2 3 4 5 6 7 8 ⑨ 10 11 12 13 14 15 ⑯ 17 18 19 20 21 22 ㉓ 24 25 26 27 28 29 ⑳ 31	日 月 火 水 木 金 土 . . . 1 2 3 4 5 ⑥ 7 8 9 10 11 12 ⑬ 14 15 16 17 18 19 ㉑ 21 22 23 24 25 26 ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ . .